

分科会 関連資料

災害復興期及び平時の防災ボランティア活動

目次

1. 「平成16年度防災とボランティアのつどい」第2回防災ボランティア活動検討会」より関連意見の抜粋	1
2. 平時の防災ボランティア活動（都道府県アンケート調査結果より）	2
3. 災害復興期のボランティア活動 具体事例	6
（1）過去の災害における復興までのボランティア活動	6
（2）中越復興市民会議	8
参考資料：平成15年度防災ボランティア関連調査結果	10

内閣府（防災担当）
防災ボランティア活動検討会（第3回）
平成17年6月10日

1. 「平成16年度防災とボランティアのつどい」第2回防災ボランティア活動検討会」より関連意見の抜粋

(1) 平時からの関係が、災害時も役立つ

- ・ 日常的にいろいろな団体と協力関係をつくっておくべき。災害時のネットワークだけを構築しようとしても、いざその時には役に立たない(つどい)。
- ・ 平常時の活動について、防災ネットワークうべでは、FMラジオを使ったり、防災のコーディネートをおこなったり、自主防災を立ち上げたりして平時の取り組みを行っている(検討会)。

(2) 日常的に顔の見える、会話のできる関係づくりのための交流が重要

- ・ ニーズをつかむために地域住民とのコミュニケーション確立が最初の難関だった。表面的な問いかけでは確立できない。日常的な話ができる関係になることが前提となる(つどい)。
- ・ 地域においては、各組織間、あるいは組織と地元住民との、日常的な「顔の見える交流」が重要で、これは、災害ボランティア活動を円滑に進める上で不可欠である(つどい)。
- ・ 直接的な復旧作業だけでなく、被災地にはさまざまなニーズがあるが、これらの多様なニーズを引き出すためには、地元住民との間に信頼関係を築かねばならず、その際に、地元住民を熟知した組織や人の仲介が必要となる(つどい)。
- ・ 災害時の支援をスムーズに要請できるように、各ボランティア組織と企業との間の日ごろからの連携・提携が重要(つどい)。
- ・ 日頃からの顔の見える関係作りのためにメーリングリストが役に立っている(つどい)。

(3) 地域内の人材を活かし、対応することが重要

- ・ 地域にはいろいろな専門を持った人がいるのでかなりのことが地域でできる。基本的には地域の中で対応するということが重要(つどい)。
- ・ 災害対応の経験がある人や防災の知識を持った人が自主防災組織ともしっかり連携し、地域の防災力の底上げすべきである(つどい)。
- ・ 昨年の京都の水害時は、阪神・淡路大震災以降、地元で市民活動が活発になってきて、その中で「環境」「まちづくり」などの分野でリーダーシップを発揮してきた人たちが活躍した。非常にコラボレーションのボランティアセンターに対して非常に有益な力を発揮したというのは紛れもない事実である(検討会)。

(4) 被災者の自立支援のための継続的なボランティア活動が必要

- ・ 被災地の自立支援には、初動時のみならず、中・長期にわたる継続的なボランティア活動が不可欠であり、これを支えるための資金も必要である(つどい)。
- ・ ボランティアの自己完結・自己責任は当然だが、厳しい活動環境を考えると長期的なものに対しては金銭的・宿泊的な支援や人的な応援もある程度あってもよいと思う(つどい)。

2. 平時のボランティア活動（都道府県アンケート調査結果より）

表1 行政とボランティアの平時からの連携状況

都道府県	連携状況についての自由記述
青森県	防災安全地方研修会（財団法人消防科学総合センターとの共催）及び、災害ボランティアコーディネーター養成研修会（社団法人青森県社会福祉協議会との共催）へ参加している。
秋田県	秋田県災害ボランティア連絡会議を設置し、活動に係る諸課題や訓練のあり方等について検討を行っている。
山形県	連絡会議を開催し、情報交換を行っている。
福島県	福島県災害ボランティア連絡協議会を開催。
栃木県	栃木県災害ボランティアに登録している団体、個人を会員として「栃木県災害ボランティア連絡協議会」を設置し、必要に応じて、月に1回程度、協議会を開催することとしている。事務局を県社会福祉協議会、県は事務局を支援する。また、県は県が実施する防災に関する研修会、講習会に登録したボランティアを招致するなど支援を行っている。
群馬県	関係団体と連携して群馬県災害救援ボランティア連絡会議を設置している。県主催の災害ボランティア普及啓発事業の実施（NPOへ委託する場合もあり）。
埼玉県	県、県社会福祉協議会、生協、埼労連、NPO 団体、ボランティアが年2回の情報交換を行っている。
神奈川県	神奈川県災害救援ボランティア支援センターの設置訓練を災害救援ボランティア団体と連携して実施。
新潟県	現在、平平時からの連携とネットワーク化を図ることを目的とした「新潟県災害救護ボランティア活動連絡会議（仮称）」の設置を検討している。
富山県	県及びボランティア関係機関・団体（県社会福祉協議会、日本赤十字社富山県支部等）からなる災害救援ボランティア連絡会を設置し、平平時からの情報交換及び会議の開催などを行っている。
石川県	一般県民を対象とした「災害ボランティア育成講座」を県内3会場で実施している。その業務を県内のNPO団体（石川災害ボランティアネットワーク）に委託して開催するなど、日頃より連携を取っている。
福井県	平成16年度 災害ボランティア活動に関する情報交換等のため年3回「福井県災害ボランティアセンター連絡会」を開催した。県内2箇所で、災害ボランティア活動に関するブロック別研修会を実施した。（内容：講演会及びボランティアセンター立ち上げ及び運営シミュレーション） 災害ボランティアリーダー養成のための研修会を実施する予定である。（3月12日、13日）
山梨県	県主催ではないが県内の有志によるボランティア団体及び個人が集い情報交換を行う場に出席（山梨県災害ボランティア連絡会議）。災害ボランティア育成講座を日赤山梨支部との

	共催、県社会福祉協議会、県ボランティア協会の協力のもと実施。
長野県	平成13年度に長野県災害ボランティア連絡会を発足させた。
静岡県	ボランティア団体の意見交換会や研修会等への職員派遣。他県の被災地に県内ボランティア団体が赴く場合における、交通規制等の情報提供及び災害救助従事車両の認定。災害ボランティア関連事業の企画・検討の際の会議。災害ボランティアコーディネーターの養成（平成8～14年度、NPO法人静岡県ボランティア協会に委託819名養成）
愛知県	災害時におけるボランティア活動を円滑に推進するために平常時からの顔の見える関係づくりとネットワーク化の推進を図る事を目的として、ボランティア団体等と愛知県は「防災のための愛知県ボランティア連絡会」を設置している。会議を年4回開催。
三重県	平成13年度から「三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会」によりボランティアコーディネーター養成講座を実施している。
京都府	専門ボランティア：別紙の通り「京都府災害救護専門ボランティア登録制度」「京都府災害ボランティア運営協議会」設置・運用し、防災講演会の開催、ニュースレターの発行を行っている。
奈良県	県主催で、県及び市町村職員と県内ボランティア・NPO等が参加する意見交換会を実施（H16年度は2回開催）。
和歌山県	防災ボランティア・コーディネーター研修を毎年1回行っているほか、県防災総合訓練への参加等で連携している。
鳥取県	県補助事業により県社会福祉協議会がボランティア団体との協議会やリーダー育成などの研究会を実施。
岡山県	災害ボランティアコーディネーターの育成講座へのプレイベントとして地元ボランティア団体等にも呼びかけセミナーを開催した。
山口県	研修、情報交換会を開催。
徳島県	災害ボランティア、災害ボランティア活動を理解するための講習会、研究会を実施。実際にボランティア活動に携わるものによる、災害ボランティア活動報告会を随時実施
香川県	平成16年度は、県事業である「防災・災害復旧支援研究事業部会」の中で関係団体と協議し、平成17年度1月22日～23日には「防災ボランティアのつどい」を協働で開催したところである。このつどいの中で、関係団体によって「香川県災害ボランティア協議会」が設立された。今後は、この協議会と連携して、マニュアルの作成など災害ボランティアに関する支援を行っていく予定。
愛媛県	県社会福祉協議会においてボランティア個人を対象としたボランティアリーダー、ボランティアコーディネーター等の講習を実施している（国と県の補助事業）。
福岡県	福岡県災害ボランティア連絡会を発足し、連絡会で研修会および講演会など講師を招き実施し、また、交流会なども開催し、日頃からの連携を大切にしている。
佐賀県	毎年度、県社会福祉協議会が行政、ボランティア団体、その関係機関で構成される佐賀県ボランティア運営委員会を開催。平成16年度に県社会福祉協議会が災害救護ボランティア

	セミナーを開催。
長崎県	財団法人県民ボランティア振興基金に災害ボランティアネットワーク研究会を設置。
大分県	災害ボランティアの募集、登録や災害ボランティアの基礎的研修の企画・実施、災害ボランティアコーディネーター養成の研修の企画、実施等を行う大分県災害ボランティア運営委員会（県社会福祉協議会内）に対し、県が補助を行っている。
宮崎県	平成 17 年度に、防災ボランティア連絡協議会を設立し、連携を図る予定。
沖縄県	ボランティア団体の活動報告会に参加し意見交換を行っている

【福井県災害ボランティアセンター連絡会】

県災害対策本部が設置される大規模災害が発生した際などに、災害ボランティアの活動拠点として設置される「災害ボランティアセンター」の設置および運営に関する基本事項を協議・決定する。また、平常時において、構成団体相互間の連携・協力関係の推進等に努めるなど、災害時における迅速かつ的確な対策を実施。活動内容は下記の通り。

センターの設置・運営に関すること。

災害ボランティア活動を円滑に行うための構成団体相互間の情報交換および交流に関すること。その他、センター活動の推進に関すること。

福井県災害ボランティアセンター連絡会の構成団体一覧

- 1 環境ふくい推進協議会
- 2 社団法人 日本青年会議所ふくいブロック協議会
- 3 日本赤十字社福井県支部
- 4 日本労働組合総連合会福井県支部
- 5 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会
- 6 福井県国際交流協会
- 7 福井県山岳連盟
- 8 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
- 9 福井県生活協同組合連合会
- 10 福井県壮年団連絡協議会
- 11 福井県レクリエーション協会
- 12 福井県連合青年団
- 13 福井県連合婦人会
- 14 財団法人 福井県老人クラブ連合会
- 15 特定非営利活動法人 ふくい災害ボランティアネット

【三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会】

三重県防災ボランティアコーディネーター養成講座を三重県民自ら運営していく為の母体として、平成12年度に三重県の呼びかけで集まった率先市民による協議会で、13年度以降は、養成講座の修了生の中から有志を募ってメンバーを増やしている。

月1回定例会を基礎に、養成講座の企画・運営の他、各地域での防災啓発活動、特に子ども達に向けた啓発活動や、三重県という地域特性を反映した活動に力を入れており、地域での啓発スキル（ほのぼの灯り、DIG、タウンウォッチング、ココア断層の実験、液状化実験など）を持った講師の派遣事業なども行っている。

【横浜災害ボランティアネットワーク会議】

横浜災害ボランティアネットワーク会議は阪神淡路大震災での教訓をもとに、横浜でも災害時に備えて平常時からのボランティア団体間の相互交流をはかっていこうと、1996年5月18日に設立。横浜市内で活動をしている79のボランティア団体・組織・グループと9人の個人会員が加盟。

活動内容

- ・ 震災や災害時にボランティア団体として、最も適切な役割を果たすために平常時から団体間での交流と情報交換を実施
- ・ 震災や災害時に最も適切な支援活動を行うための方法を取得するための研修やシミュレーション活動を実施
- ・ 被災地のニーズを見極め、状況に応じた効果的な支援プログラムを開発、実施できるコーディネーターの養成を実施。

3.復興ボランティア活動 具体事例

(1) 過去の災害における復興までのボランティア活動

有珠山噴火（平成12年3月31日）

応急対応時	<ul style="list-style-type: none"> 北海道社協「有珠山福祉救援ボランティア対策本部」を設置、伊達市社協内に「伊達現地対策本部」を設置、その後、豊浦、長万部にも対策本部を開設。 豊浦、長万部のセンターは町内団体を中心に構成されたのに対し、伊達市では、「震災がつなぐ全国ネットワーク」が副本部長・コーディネーターを担うなど外部の団体との混成チームで運営（外部の組織の地元に対する認知度、信頼感の問題も浮上し、活動地域・内容が限定された）
復旧時	<ul style="list-style-type: none"> 避難指示解除後、ボランティア活動は、洞爺湖温泉のある最大被災地虻田町ボランティアセンターに移行。伊達市でのコーディネーター経験者3名が、継続的に町内の仮設住宅を中心に被災者支援 有珠山噴火災害支援全国ネットワークを結成し、約5ヶ月にわたってスタッフ派遣を行う
復興時	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年年5月に、「洞爺湖にぎわいネットワーク」がNPO法人として発足。主な活動としては、シャッターアート(北海道イラストレーター協会や美術専門学校生の協力を得て店舗シャッターにペインティングする)、にぎわい茶屋(空き店舗を利用して観光情報や噴火パネルなどを展示し、観光客とじもと住民の交流拠点を目指したもの)、にぎわいショップ(空き店舗を利用してミニチャレンジショップをいわば事業家の卵ともいえる若者に提供し、空き店舗対策、地域の活性化、アントレプレナーの育成を目指したもの)などがあげられる。

三宅島噴火（6月26日噴火、9月1日全島避難指示）

応急対応時	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年8月、東京ボランティア市民活動センター内に「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」開設。 都内の避難先の社協やボランティア団体などを中心に、ボランティアセンターと連携して、島民を支援。島民電話帳作成や島民連絡会の組織づくり、生活情報ニュース「みやけの風」作成など、離ればなれに暮らす島民の連絡・連携を図るための支援を実施
-------	--

復旧時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民自ら災害を乗り越えてきた経緯があるため、「他人の力を借りなくても自分たちでできる」という意識が強い。しかし、救援活動を通じて、ボランティアとの信頼関係が深まった。 ・ 「島魂」三宅島ネット(http://www.miyakejima.net/)の三宅島住民自身によるホームページを利用した情報発信（平成 12 年 8 月下旬から） ・ 多摩ニュータウン地区における「三宅島と多摩をむすぶ会」の情報紙「アカッコ」による三宅島避難者への情報支援活動（平成 12 年 9 月下旬から）
復興時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 16 年 6 月には三宅村・東京都・国の三機関の合意によって、明年 2 月の避難指示解除方針が決定。 ・ 三宅島災害・東京ボランティア支援センターにより、平成 17 年 4 月から、島民帰島時における生活再建支援ボランティア事業を開始（島内引越し時サポート事業、生活環境サポート事業、一部降灰除去、雑草除去など）。島内に 20 名/日～50 名/日のボランティアを常駐させ、帰島島民の暮らしの再建事業を支援する。（ただし、参加ボランティアの島内派遣は、原則 1 週間とする。ボランティア休暇(有給)の有効活用を計る）

鳥取県西部地震（平成 12 年 10 月 6 日）

応急対応時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「鳥取県社協対策本部」の設置を皮切りに、「米子市災害ボランティアセンター現地本部」、日野町、西伯町、境港市、会見町、岸本町、溝口町にもセンター開設。 ・ 中国・近畿圏の府県社協から、専門性が必要とされるコーディネーター、ケアワーカーに限定しての支援が行われる（鳥取県からの派遣要請による）
復旧時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壊れた建物や塀のがれき処理、屋根のブルーシート張り、室内整理、炊き出しなどに対応
復興時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震源地に近い日野町では、兵庫県社協や鳥取県社協の支援を受けながら、長期的な支援のあり方、日常的なボランティアセンター機能の継続を検討。 ・ 兵庫県社協は、県内社協にスタッフ派遣を呼びかけ、数名のチーム編成で継続的に支援を行った。活動最終日には現地にコーディネート業務を引き継ぐために、「コーディネートマニュアル」を作成。

『ボランティアコーディネーター白書 2002-2003』、災害時のボランティアセンターの役割～有珠・三宅・東海・鳥取の経験に学ぶ～生活協同組合コープこうべ福祉・環境活動部 橋口文博著等を参考にまとめた

(2) 中越復興市民会議

復興関係の活動を一部抜粋

ボランティア活動事業

<p>理念</p>	<p>中越復興市民会議としてボランティア活動に取り組む理由は、第一に災害復旧の現場が在り、ボランティアの力を求める局面がある。仮設住宅が存在する限りボランティア活動の必要性がある。第二に「被災地責任」として復興に取り組むボランティア活動のあり方をしっかりと検証し記録していく必要がある。また、中山間地型災害のモデルケースとしてもその必要性は大である。</p>
<p>事業</p>	<p>仮設住宅見守り事業 適時に仮設住宅の訪問・聴き取りを行い問題解決の一助となるように活動する。大阪大学など他団体との連携のもと記録・検証する事業を行う。</p> <p>災害救援ボランティア事業 各ボランティアセンター・ボランティアグループと協働して、災害の復旧・救援の活動を行う。また必要に応じ「にいがた災害ボランティアネットワーク」と連携のもとボランティアの募集を行い活動する。</p> <p>活動資材調整事業 ボランティア・ボランティアセンターの活動資材機材の調整を行う。</p> <p>文化振興ボランティア事業 新潟県文化振興財団と連携のもと文化・芸能活動による被災地支援を行う。</p>

移動井戸端会議事業

<p>目的</p>	<p>被災者・高齢者が地域の夢を語る場所を提供しながら話題(課題)を発掘し、問題点を掘り下げながら課題解決の道筋を探り、被災地全体の情報を共有し、心の復興を支える。</p>
<p>開催回数</p>	<p>30回(今年度) 開催曜日 土、日、祝日(年間10回)時間帯は午後を想定(13:00～15:00) 平日 (年間20回)時間帯は夜を想定(19:00～21:00) 対象者 被災地の高齢者・主婦、被災地の一般市民・子供 被災地の農・商・工業関係者、被災地の団体、NPO等</p>
<p>開催場所</p>	<p>各市町村の仮設住宅集会所、公民会、集落センター等の公共施設</p>
<p>対象地域</p>	<p>長岡市、小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、見附市、柏崎市、栃尾市、川口町、出雲崎町、刈羽村</p>
<p>対象者</p>	<p>個人、住民グループ、NPO(民間非営利団体)、地域の企業等。 * 特に、女性グループの起業・事業活動の支援に励む。</p>

情報収集発信事業

<p>目的</p>	<p>中越地域を中心とした新潟圏域で、中越大震災復興への知恵を集め発信し、中越の一体感づくり、新潟の一体感づくりをすすめる。</p> <p>中越大震災をきっかけに新潟発の復興・防災情報を全国に向けて発信する。</p>
<p>情報発信の構成</p>	<p>WEB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中越復興市民会議の案内 ・メールマガジンの紹介、バックナンバー、・ News、お知らせ <p>週刊メールマガジン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興ニュース(新聞の切り抜き & 取材情報) ・復興活動インタビュー ・ 災害救援をふりかえる ・復興への提言 <p>メディア紙面を使った復興キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅支援 & 中越復興市民会議報告 ・山里の住宅 & 中越復興市民会議報告 ・農と住宅 & 中越復興市民会議報告 <p>季刊まち復興マガジン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興の状況をまとめて発信する ・特集記事 ・ 物産
<p>対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中越地域を中心とした新潟の地域住民 ・復興に関心のある全国の市民、NPO、研究者、ジャーナリスト

【事業概要】 <http://www.nponiigata.jp/jishin/>

参考資料 災害ボランティア団体の平時の活動

平成14年度防災ボランティア活動関連調査より抜粋（平成15年3月時点）

団体名	N V N 日本沼津災害救援ボランティアの会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 青少年健全育成 野外教育/遊びの指導 サマーキャンプ 人材育成 ボランティア養成 研修・訓練
常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命法講習会を実施（現在820名が受講） ・防災学習会として、講習会（過去の災害救援活動の体験談）、映画会「救えたはずの生命」、研修会（耐震診断・家具固定法・ペットボトル利用消火法ほか）、防災施設見学ツアー（本所池袋防災館ほか）、阪神ボランティア研修（1996年夏から毎年実施、2003年春は神戸相生大阪での研修を実施）、ライフメッセンジャー研修（自転車利用の被災時連絡ボランティア）、青少年サマーキャンプ、遊び研修会（けん玉・手作り独楽・ドールハウス・遊び歌など神戸仮設住宅や台湾、有珠山避難所においても実施）、車椅子研修会（構造や種類等の机上学習、実地体験研修）を行っている。 ・災害救援もちもち募金（「気持ちとお餅を被災地に贈ろう！」と、毎年12月にJR沼津駅前にて実施している。神戸、トルコ、台湾、三宅島などに贈呈した。

団体名	大岩2丁目自主防災会
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 災害救援 地域災害救援
平常時の活動内容	<p>日常からの福祉活動</p> <p>災害時には、日頃高齢者への配食サービスを行っているグループには炊き出し班を、アマチュア無線の免許を持っている人たちには情報班を担ってもらおうというように、日常の活動や資格を災害時にもそのまま生かすような役割分担をしている。</p> <p>地域安全の会（自警団）を結成</p> <p>災害時における初期火災の発見、日ごろの盗難防止などを目的に住民の力で地域を守るために「大岩2丁目地域安全の会」を結成。</p> <p>次の3グループに分かれて活動し、人と人とのつながりを大切にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震対策 市防災課との連携、各種アンケート、調査の実施など ・防犯対策 交番との連携、悪質な訪問販売等の情報連絡、自転車盗難防止など ・防火対策 消防署との連携、町内巡回、防火週間における広報など <p>向こう三軒両隣救護活動を展開</p> <p>援護を必要とするお年寄りや障害者の方々を近隣の皆さんで見守り、援助していこうというもの。東海地震を想定した場合、寝たきりの方、歩行困難な方など、災害弱者と言われる人たちをどのように救出・非難したらよいかを各隣組で相談し、計画する。</p> <p>組織や訓練の見直し（自主防災会とボランティア活動を組み合わせた組織作り）</p> <p>日ごろはボランティア活動を通して人と人とのつながりを持ち、災害時にはそのまま自主防災会の組織に移行できるように、組織の班編成を工夫。</p>

団体名	春日井市安全なまちづくり協議会
主な活動キーワード	まちづくり コミュニティーづくり 地域安全 地域安全 防犯 講座の実践 人材育成 ボランティアの養成 講座の実践 社会教育 地域活動 災害時にむけての研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全アカデミーを開講し、その卒業生であるボニターが地域の安全リーダーとして防災・防犯について、様々な安全意識の啓発活動を市民に対して実施。 ・安全アカデミーの卒業生を中心とした女性たちが集まり、春日井安全・安心まちづくり女性フォーラム実行委員会を結成して、防犯・防災・交通をキーワードに市民の安全意識啓発につとめている。
団体名	神奈川災害ボランティアステーション
主な活動キーワード	災害救援 広域災害救援 保健・医療・保健 障害者/高齢者/介護者支援 自立支援 社会教育 防災活動 防災訓練/子どもへの防災訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種防災訓練への企画・参加協力 ・防災絵本「あかちゃんがないています。」や「簡易包帯巻器」を活用した、子供たちへの防災教育 ・「地域NPO送迎団体」との協働による「高齢者・障害者等家族支援ボランティア活動」の実施
団体名	神奈川災害ボランティアネットワーク
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供 人材育成 ボランティアコーディネーター育成 研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域におけるネットワーク化を促進する活動及び事業 ・災害時における支援活動のための研修及びコーディネーターの養成 ・ボランティア、団体間の交流と情報交換 ・その他このネットワークの目的達成のために必要な事業

団体名	NPO法人 かものはし (前 西宮・地域たすけあいネットワーク)
主な活動キーワード	保健・医療・福祉 高齢者/障害者支援 生きがいづくり/移送サービス/ 自立支援/給食サービス/デイケア
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービス(福祉車両で通院などのサポート) ・高齢者のイキイキ文化教室(10教室) ・介護者支援のためのサロン活動(オーロラステーション) ・給・配食サービス(2講座) ・介護保険枠外のサービス(付き添い家事援助) ・ヘルパー付き行楽地へのお出かけ
団体名	川崎・災害ボランティアネットワーク会議
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災教育 災害にむけての研修・訓練 人材育成 ボランティア育成 研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習 実地訓練 ・災害に対する学習と阪神・淡路大震災の具体的な教訓の研究 ・地域に根ざした災害ボランティアのチーム作りとそのネットワークの 確立
団体名	北区防災ボランティア
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の町会自治会との共同訓練 ・コーディネーターの必要自己訓練 ・チームでのボランティア立ち上げ訓練(コンピュータ-無線通信訓練)

	NPO法人国際協力アカデミーひろしま (AICAT)
主な活動キーワード	人権擁護 平和の推進 国際協力 国際支援/国際貢献/国際交流 災害時支援 災害救援 地域/広域災害救援
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・NGO フェア 2000「地域からの国際協力」ブース出展、「地域からの国際協力」パネリスト派遣(2000.3.3~12、ひろしま国際プラザ) ・TSS 文化大学一般教養講座「東ティモール避難民救援活動報告」講師派遣(2000.3.14、テレビ新広島) ほか ・NPO フォーラム in みはら「NPO とは何か~NPO の可能性」パネリスト派遣(2000.4.15、サン・シープラザ) ・パネル出展(2002.4.1~7、広島市留学生会館) ・広島フラワーフェスティバル参加、パネル展示・フリーマーケット ・国情理解講座「ネパールにおけるNGOの実態と問題点」(2002.5.17、広島国際センター)
団体名	国際ボランティア学生協会(IVUSA)
主な活動キーワード	災害救援 広域災害救援 地域福祉 高齢者/障害者支援 慰問 環境保全 美化活動 河川/その他(国際的な環境保全) 国際協力 国際支援/国際貢献 災害時支援/発展途上国への支援
平常時の活動内容	1カ月~1カ月半に一度の定例会、年間通じた国内外の活動に対する勉強会、他団体や個人(地域イベント・集会・シンポジウム)に対する補助ボランティア活動、合宿に於ける上級救命技能講習会等を行う。
団体名	NPO法人 戸建住宅耐震化推進協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 まちづくり 広報・啓発 街並み・建物の保全 社会教育 防災活動 家の耐震化
平常時の活動内容	防災に関する啓蒙、啓発及び工法研究開発

	御殿場市ボランティア連絡協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 災害弱者 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場市においてボランティア団体、福祉団体に関する連絡調整、また情報交換等を行い、社会福祉の向上に参画。 ・阪神淡路大震災で多くの障害者・高齢者が救援から取り残された教訓を生かし、救護体制の遅れを少しでも克服するため、障害者や高齢者を抱える世帯に協力していただき、大規模災害時に救援ボランティアがより早く行動できるようなシステム作り。
団体名	災害救援ネットワーク北海道 (DRN・HOKKAIDO)
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 まちづくり コミュニケーションづくり 地域間交流 人材育成 ボランティア養成 研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習 ・実地訓練 ・募金活動
団体名	NPO法人 災害救助犬静岡
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 救助・搜索活動 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 保健・医療・福祉 支え合い 慰問
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県防災訓練・地区防災訓練に参加 ・行方不明者(山間地)搜索活動 ・各施設にて救助犬を連れての訪問・実演

団体名	災害救援ボランティア推進委員会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 人材育成 ボランティアリーダー養成 研修・訓練
平常時の活動内容	<p>現在までに東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、長野県で災害救援ボランティア活動を希望する人を対象に基礎講座を開催し、災害救援ボランティアリーダー2,260名以上を、セーフティリーダー（当会としての呼称）として認定してきた。認定を受けた人で、希望する人には教育訓練や地域でのネットワークづくりを進めるために登録制度を設け、1,876名が登録して自主的に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害救援ボランティア講座の開催 ・リーダーを対象とした教育訓練 ・地域での災害セーフティネットづくり ・地域での防災訓練への協力 ・学校での防災教育への協力

団体名	災害ボランティアコーディネーター静岡県協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 防災訓練 連絡助言 ボランティアコーディネート 情報収集・提供 人材育成 ボランティアコーディネーター養成 研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に必要となる人々とのネットワーク作り ・災害発生時に必要となる災害ボランティアセンター立ち上げに必要な人・物資・場所・資金・情報の確保 ・学校や自主防との防災訓練 ・総合防災訓練への参加 ・県内外の諸団体との意見情報交換並び連携模索
団体名	ジャパン・ファイア・ファイティング・ウィミンズクラブ
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 防災指導 人材育成 国際協力 国際支援 災害時支援（米国同時多発テロ時）
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者参加の防災訓練マニュアルの作成 ・訓練指導者養成、及び検証訓練の実施 ・乳幼児への応急対応の普及活動 ・少子高齢社会の生活安全についての調査研究 ・「手作り布絵本」の作成 ・指導手法の調査研究 ・ファイアマンズコートの試作（3シーズン防火衣） ・平常時の非常食についての研究 ・食のネットワーク活動 ほか

団体名	静岡県災害救援ネットワーク
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加各団体ごとに防災・減災について活動し、不定期に情報交換会や交流を行っている。 ・小中学校から一般を対象にした実践防災講座（初級・中級・上級）の実施。 ・啓発、啓蒙活動 ・救命救急法、救出法等の演習
団体名	静岡県災害時バイクボランティア連絡協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練/講演会 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・県域団体・地域団体・専門家集団との意見・情報交換ならび実践訓練 ・加盟団体・個人主催の活動に対するサポート ・防災・バイク隊に関する訓練・講演会への講師派遣
団体名	静岡県石油商業組合
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 場所や情報の提供/モノの提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難場所としてガソリンスタンドを利用してもらうための指導や訓練。 ・災害時の緊急車両やバイクボランティアへの燃料優先供給のための協定を結ぶ。
団体名	静岡県防災士会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 人材育成
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県民を対象にした防災講習・講習会の開催 ・防災講習資料（テキスト）の作成 ・その他地域防災に関する啓発活動 ・防災計画、訓練計画作成等のアドバイス ・訓練指導と評価・問題点と改善方法の提示 ・防災に関する資料の作成・提供 等

団体名	NPO法人 静岡県ボランティア協会
主な活動キーワード	保健・医療・福祉 地域福祉 人材育成 ボランティア養成 研修・訓練 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・情報提供（県内・外を問わずボランティア活動に関する情報を収集し、積極的に広報・提供） ・ 相談・援助活動（ボランティア活動に関する困ったことや、わからないことに対して、いつでも相談に乗っている） ・ 研修・啓発（ボランティアグループ、福祉団体、関係機関や、企業、学校などのネットワークを充実させ、ボランティア活動に対する理解を広めていく） ・ 体験と学びの場づくり（誰もが参加できる事業を企画し、福祉・国際交流・自然保護環境問題等に関心を持つ人がボランティア活動に参加できる機会を提供していく） ・ 市民活動支援（NPO法の成立にあわせ積極的に市民活動を支援していく）
団体名	静岡県レスキューサポート・バイクネットワーク
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援
平常時の活動内容	日頃は、「災害に備えた走行訓練および情報収集」、「他団体との連携」、「ハザードマップの作成」などを行っている。
団体名	地震と災害を考える大工の会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 地域福祉
平常時の活動内容	<p>行政と連携し災害弱者家庭を対象に家具の固定を実施している。現在760世帯、1860個の家具固定の依頼があり、1995年より各種防災訓練場、自治会、新聞、テレビ等の依頼で、家具固定法の実演と指導をしている。</p> <p>大工の保有する技能と工具を活用し、近所の住民と倒壊家屋内の生存者救出に使用する工具コーナーの設置運動をしている。</p>

団体名	品川の防災を考える会
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 講演/防災指導 まちづくり コミュニティーづくり/商店街の活性化
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元児童センター、障害者等災害弱者への防災教室。 ・品川区へ防災に関する課題を提案し、解決への一助を担う。 ・品川区商店街連合会の女性部への防災教育の普及。
団体名	NPO法人 島原ボランティア協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 まちづくり ふるさと興し 観光ボランティア 環境保全 環境保護 植樹
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命法指導 ・子供たちを対象としたサバイバル教育 ・地域内及び全国の災害時の支援ネットワーク構築 ・災害時の知恵の伝承と語り部活動（観光ボランティア含む） ・災害ボランティア活動コーディネーター講習会、講演会 ・雲仙 100年の森づくり
団体名	震災がつなぐ全国ネットワーク
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援/復興支援 情報収集・発信 国際協力 国際支援 災害時支援/難民支援 その他 出版活動
平常時の活動内容	阪神・淡路大震災やその後の災害の教訓とした提言冊子の刊行。全国各地で地域防災や災害救援をテーマとした講習会・イベントなどの開催。
団体名	NPO法人 震災から命を守る会
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 講演会/防災指導/屋内対策
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県内、県外の行政及びに企業や自主防災会にて防災講演活動 ・他NPO団体と共同で地域安全活動

団体名	真如苑救援ボランティア S e R V
主な活動キーワード	災害救援 広域災害救援 物資の調達・分配/ボランティアセンター 人材育成 ボランティアコーディネーター養成 研修・訓練 社会教育 防災活動 災害時に向けての研修・訓練
平常時の活動内容	・炊き出し訓練 ・救命講習会 ・無線講習会 ・自動車整備訓練 ・救護訓練
団体名	全国商店街震災対策連絡協議会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 まちづくり 仲間づくり 地域間交流 社会教育 防災活動 子どもへの防災教育
平常時の活動内容	・早稲田いのちのまちづくり ・リサイクル活動 ・修学旅行対応防災キャンプ
団体名	東京いのちのポータルサイト
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	この法人は、東京はじめ首都圏各地域の様々な団体、個人が緩やかに連携し、共同でつくりあげるものである。取り組む事業は、防災に関するシンポジウムやフォーラム、最先端のITを駆使した防災情報システムとネットワーク、ポータルサイトの構築、防災に関する調査研究活動など。

団体名	東京災害ボランティアネットワーク
主な活動キーワード	連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修訓練
平常時の活動内容	<p>阪神・淡路大震災を教訓（緊急救援の準備がなかったことや、平常時から団体間の連携協力や情報交換のシステムがなかったことが、様々な場面で円滑な救援活動の妨げとなったこと）に、様々な団体が平常時から情報を交換し、連携協力するためのゆるやかなつながりの「場」として設立。参加団体が災害時に効果的に活動するために、顔の見える関係をつくり、個々の団体が主体的に運営するネットワークをめざしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における各団体の活動を効果的にするため、都下および周辺地域で災害支援活動を検討している様々な団体と、平常時から情報交換、連携協力することを目指す。 ・災害時には各地域間、団体間での情報拠点および連携協力調整の拠点として機能することを目指す。 ・行政、防災関係機関との連携、他の地域とのネットワーク形成を目指す。 ・ネットワーク活動：顔の見える関係づくりのための定例全体会を行う。各団体の情報整理と関連情報のデータベース化、ニュースレターの発行を行う。 ・テーマ別研究活動：分科会を設置し、災害時に発生する様々な課題について研究する。 ・研修、講座、啓発活動：研究成果や災害にともなう種々の課題について、研究会や講座を実施。啓発のためのイベントを行う。 ・災害時の救援活動：被害状況や救援ニーズについて情報を収集し、参加団体の効果的な活動を促す。
団体名	都市防災研究会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 まちづくり コミュニティーづくり 地域安全
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌及び防災図書の発行 ・大地震や都市防災に対する学習会の開催等啓発活動の展開 ・安全で住みよいまちづくりに提言と要援護者対策の充実強化 ・多岐にわたる都市防災の専門家の育成 ・ボランティア活動の組織化と新しいコミュニティーづくり ・ホームページの開設等専門的知識や情報の共有

団体名	長泉町災害時ボランティアコーディネーターの会 (N S V C)
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 まちづくり コミュニティ - づくり - 地域交流 人材育成 ボランティアコーディネーター養成 研修・訓練 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する市を含め、各防災訓練等への参加。 ・レスキューバイク隊など周辺を含むボランティア団体との交流 ・地域や学校で家屋の耐震化を含めた防災意識向上への講演活動 ・拠点整備に向け関係各機関への働きかけ ・ボランティア養成（花いっぱい活動） ・県主催わんぱくサバイバルキャンプに協力
団体名	特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス
主な活動キーワード	まちづくり 広報・啓発 清掃活動 地域安全 防犯/非行防止 パトロール 災害救援 地域/広域災害救援
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪・非行を防止するためのパトロール ・住民合同環境浄化パトロール ・商店会合同環境浄化パトロール ・小学校学区内 P T A への安全指導パトロール ・インターネット上の違法情報の集約・通報 ・子供達へのインターネットの使い方、モラル講習 ・ネット上のトラブル相談、・犯罪の防止に関する知識の普及 ・海外災害救援派遣
団体名	特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク (N V N A D)
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 国際協力 国際支援 災害時支援 社会教育 防災活動 災害時にむけての研修・訓練
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク活動 ・地域防災活動（わがまち再発見ワークショップなど。） ・講座・研修活動 ・出版活動

団体名	ハローボランティア・ネットワークみえ
主な活動キーワード	まちづくり 行事 市民活動の支援 災害救援 地域/広域災害救援 ボランティアセンター
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員有志による月1回の定例会 ・三重県内各地のイベント会場における、ボランティア活動の支援センター運営（年間6回程度） ・会報による情報交換（年6回程度）
団体名	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 災害弱者 保健・医療・福祉 障害者/高齢者支援 自立支援/生きがいづくり
平常時の活動内容	<p>研修・講習 実地訓練 その他（訪問）</p> <p>デイサービス・高齢者の居場所・生きがい仕事づくり</p> <p>公営住宅の自治会と共にコミュニティづくり（お茶会・地域見守り・イベント） 訪問介護・家事援助・相談事業・講演</p>
団体名	ひまわりの夢企画
主な活動キーワード	青少年健全育成 社会教育 災害救援 地域災害救援
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりネットワーク運動の実践 ひまわりの花いっぱい運動で地域を耕し、青少年の健全育成・明るい町づくり等の活動をしている。
団体名	富士市災害ボランティア連絡会
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 人材育成 ボランティアコーディネーター養成 研修・訓練 連絡助言 ネットワークづくり 情報収集・提供
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会場型総合防災訓練 ・防火・災害講演会 ・DIYなどの防災研究会 ・ボランティア本部・支部立ち上げ訓練等 ・簡易コンロ、ほのぼの灯かり作成等の防災教室（学生・地域対象）

団体名	富士常葉大学防災研究会 & 東海大学災害救援ボランティアチーム
主な活動キーワード	社会教育 防災活動 防災指導 災害救援 地域/広域災害救援
平常時の活動内容	<p>富士常葉大学には環境防災学部があり、そこで防災についてより詳しく学びたいという生徒が集まって結成。また、他大学との交流も重要だと感じ、東海大学と一緒に活動を行うようになった。</p> <p>静岡県や山梨県の中学・高校やボランティアグループに対してほのぼのあかりやDIYに関する知識の普及をはかり、少しでも東海地震や他の災害について考えてもらおうと活動をしている。</p>
団体名	プロジェクト1 - 2 (ワン・ツー) 設立時は「1 - 2 ドリーム」
主な活動キーワード	<p>災害救援 地域災害救援</p> <p>保健・医療・福祉 高齢者/障害者福祉 生きがいづくり</p> <p>まちづくり コミュニケーションづくり/コミュニティづくり/仲間づくり/高齢者と地域社会 ふれあい喫茶/行事/昼食会/サークル活動</p> <p>人材育成 ボランティア養成 講座の実践</p>
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいプロジェクト(兵庫区・須磨区) 同じ地域に住むもの同士が共に集い、交流できる場を作ることを通して、お互いに助け合いや支え合いのできる環境をつくる。 ・高齢者の生きがい仕事づくりプロジェクト 高齢者が技能を生かした品物を通して、生きがい作りと収入を得るきっかけ作りを行う。 ・縁をつなごうプロジェクト プロジェクト1 - 2 ができた 1995年1月28日から現在までにいろいろな場面で出会った方々との縁を大切にし、災害の時や必要なときにお互い協力しあえる関係を構築する。

団体名	防災装備を維持する会
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 モノの提供 まちづくり 行事 地域交流
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数経過後の利用可能車両等整備品に関する調査・研究 ・車両等の整備と維持 ・車両等の防錆運転等の管理 ・車両等の運行サポート ・地域行事への参加
団体名	三宅島災害・東京ボランティア支援センター
主な活動キーワード	災害救援 地域災害救援 復興支援
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三宅島島民ふれあい集会 ・みやけふれあいコール（島民ボランティアによる声かけ活動） ・三宅島災害に関する情報の収集と発信
団体名	特定非営利活動法人 レスキューストックヤード
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 人材育成 ボランティアコーディネーター養成 研修・訓練 まちづくり - コミュニティーづくり - 地域交流 環境保全 環境整備 リサイクル 保健・医療・福祉 地域支援 イベント活動
平常時の活動内容	<p>災害ボランティアコーディネーター養成講座の委託・運営、「防災講演会」講師、緊急時に役立つ平常時からのリサイクル活動『アルアルパック』の収集、地域交流を目的としたフリーマーケットへの参加、各自治会やRSY 会員が企画する「防災勉強会」への参加、災害時における災害弱者への支援の検討・研究、愛知県内を中心とした災害ボランティアネットワーク「災害Vネットあいち」の設立、地元自治体を中心とした「防災コミュニティープラン」の実施など。</p>

団体名	連合東京ボランティア・サポートチーム
主な活動キーワード	災害救援 地域/広域災害救援 保健・医療・福祉 高齢者/障害者支援 その他 募金活動
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時におけるボランティアリーダー養成の研修（年10回） ・東京災害ボランティアネットワークが主催するイベント、活動への参加

団体名	財団法人 東京基督教女子青年会（東京YWCA）
主な活動キーワード	（青少年健全育成・生涯学習・社会教育・福祉教育・野外教育・環境教育、国際友好・地域福祉・障害者福祉・高齢者福祉・人権擁護および平和の推進、男女平等参画推進）
平常時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門学校（介護福祉士、社会福祉主事など養成） ・女性専用スポーツクラブ ・高齢者介護事業（居宅、訪問、通所介護、） ・障害児療育・保育事業（相談、デイサービス、統合保育） ・野外・環境教育事業（キャンプ、自然体験、自然保護プログラム） ・生涯学習事業（語学、音楽、絵画、料理） ・国際友好活動（留学生、中国帰国者等の支援） ・子育て・高齢者支援活動